

令和 2 年度「小中学校取組状況等のアンケート（中学校）」

回答数 22 校 / 22 校 (100%)

1 学校と図書館との連携事業について該当する方に○をご記入ください。現在利用していない場合は、その理由に○をしてください。

① 図書の団体貸出

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 9 校 / 41%

B 現在、利用していない 13 校 / 59%

 理由 借りたい本が無い (3)

図書館へ借りに行く時間が無い (2)

知らなかった (1)

借りられる本がわからない (0)

申込方法がわからない (0)

その他 (6)

- ・本を使わなくてもインターネットで調べ、学習はできるから
- ・同じ本を複数借りられないため
- ・学校の図書館で間に合っている
- ・冊数の上限不足とネットに対応しているため
- ・相談する時間がなかなか取れない

未記入 (1)

【回答状況】

約 4 割の学校が利用している。

利用していない学校は、「借りたい本がない」、「図書館へ借りに行く時間が無い」が多く、他には「同じ本を複数借りられないため」、「冊数の上限不足とネットに対応しているため」などの理由があった。

【今後の対応】

学校ニーズに応じた本を購入していくことにより、団体貸出サービスにつなげていく。

② いたばしポローニャ子ども絵本館の所蔵する資料の団体貸出

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 2 校 / 9%

B 現在、利用していない 20 校 / 91%

 理由 図書館へ借りに行く時間が無い (5)

知らなかった (4)

借りたい本が無い (2)

借りられる本がわからない (2)

申込方法がわからない (0)

その他（6）

- ・利用の機会がない（2校）
- ・必要を感じていないから
- ・英語科と検討する
- ・図書購入費でまかなう

未記入（1）

【回答状況】

約1割の学校が利用している。

利用していない学校は約9割で、「図書館へ借りに行く時間が無い」、「知らなかった」という理由が約半数を占め、他には、「利用の機会がない」、「必要を感じていないから」という理由であった。

【今後の対応】

利用している学校が昨年度から1校増えたものの、まだまだ利用率は低い状況である。「知らなかった」と回答した学校は、昨年度から2校減少し認知されてきたが、制度の周知を更に強化するとともに、具体的活用方法を積極的に提案していく必要がある。

③絵本館主催の中学生を対象にした英語絵本の翻訳コンテスト（「いたばし国際絵本翻訳大賞」）

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 10校／45%

B 現在、利用していない 12校／55%

- 理由**
- ・取り組みの時間がない（4校）
 - ・知らなかった
 - ・英語科や生徒たちからの要望がなかったため

【回答状況】

昨年同様、約半数の学校が利用している。

利用していない学校は、「取り組みの時間がない」という理由が一番多かった。

【今後の対応】

中学生が翻訳に興味を持ち、その楽しさに触れられるよう、学校の協力を得ながら参加者を増やしていく。

④学校への出張授業（図書館を使った調べる学習コンクールの学習法など）

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 4校／18%

B 現在、利用していない 18校／82%

- 理由**
- 時間がない（6）
 - 司書がいるから（6）
 - 知らなかった（2）
 - その他（4）
 - ・今年度できるか不明
 - ・教科で担当している

・やりたいと思っていたがタイミングが合わなかったため

【回答状況】

昨年度から2校増え、約2割の学校が利用している。

利用していない学校は、「時間がない」、「司書がいるから」という理由が最も多かった。

【今後の対応】

学校司書と連携した出張授業の取組みなど、学校の負担軽減につながる提案を行っていく。

⑤学校図書委員と図書館員との連携・懇談

A 現在、利用または実施（予定も含む）している 7校/32%

B 現在、利用していない 15校/68%

理由 時間がない（5）

司書がいるから（5）

知らなかった（3）

その他（2）

・おすすめ本作りで来校していただいているから

【回答状況】

約3割の学校が実施している。

実施していない学校は、「時間がない」、「司書がいるから」という理由が最も多かった。

【今後の対応】

図書館との情報交換を有益な場と認識してもらえよう、学校に積極的な働きかけを行い、実施校を増やしていく。

2 中央図書館では学校支援図書の拡充を行います。どのような資料があれば良いかお伺いいたします。（該当の項目すべてに○を付けてください）

①教科書に掲載された資料（10校/45%）

教科書で紹介されている本/教科書とリンクする古典文学作品/説明文などのデータ/
国語の教科書に案内されている図書（学年別）

②英語の授業で利用できる資料（1校/5%）

辞書

③中高生向け（ヤングアダルト）図書（5校/23%）

文芸書など将来にわたり楽しめる文庫本/ミステリー・ライトノベル・メディア化した作品の原作・学習漫画と共に本屋大賞など様々な選出作品をタイムリーに

④図書館が選んだ読み物セット（2校/9%）

具体的資料の記入なし

⑤調べ学習に役立つ資料（11校／50％）

詳細は問3へ

⑥ブックトークに役立つ本のセット（4校／18％）

具体的資料の記入なし

⑦読み聞かせに役立つ本のセット（1校／5％）

具体的資料の記入なし

⑧教職員向けの資料（2校／9％）

具体的資料の記入なし

⑨DVD及びCDなどの視聴覚資料（6校／27％）

授業で使えるもの/教科書とリンクする古典文字作品/中学生向けの映画/SDG'sについて

⑩その他（1校／5％）

オンライン上で閲覧できる電子書籍や資料

【回答状況】

「調べ学習に役立つ資料」の要望が一番多く、次いで「教科書に掲載された資料」だった。他には、「DVDやCDなどの視聴覚資料」、「中高生向け（ヤングアダルト）図書」が多かった。

【今後の対応】

学校要望を参考に団体貸出用図書を購入していく。

3 問2で「⑤の調べ学習に役立つ資料」とお答えいただいた方にお聞きします。希望される分野はどのようなものですか。（該当の項目すべてに○を付けてください）

（回答数 11校）

① 移動教室の事前授業のための資料（6校／55％）

京都・奈良/鎌倉/志賀高原/富士見高原/横浜/毎年更新される最新の情報書籍/都内巡り

② 自然科学系（2校／18％）

環境

③ 人文科学系（1校／9％）

具体的資料の記入なし

④ 社会科学系（4校／36％）

国調べ/人物調べ/平和・戦争/人権

⑤ その他（3校／27％）

SDG's 関係（環境、ジェンダー、戦争、平等等）/オリンピック・パラリンピック

【回答状況】

「移動教室の事前授業のための資料」の要望が最も多く、次いで「社会科学系」であった。

【今後の対応】

「移動教室の事前授業のための資料」は使用する時期が重なるため、複数校に対応できるよう冊数を増やしている。今年度も状況を確認し、更なる購入を検討していく。

- 4 区立図書館では職場体験の受け入れを行っております（各館の特別整理期間を除く）。
予定があれば派遣時期・学年などをご記入ください。

派遣時期	学年	派遣希望先	人数
9/15～18	8 (2)	志村図書館・蓮根図書館	2～3人
1/13～15	1	小茂根図書館	3人
3学期	2	高島平図書館・成増図書館	3人程度

※記入があった学校のうち、今年度未定・中止の学校を除く

【回答状況】

22校のうち13校から回答があった。新型コロナウイルスの影響により、「実施未定」の回答が多かった。

【今後の対応】

地域館に情報提供する。新型コロナウイルス感染拡大防止対策を万全に行い、安全に実施していく。

5 中学生向け読書通帳

読書通帳の活用状況についてお伺いいたします。

- (1) 貴校での読書通帳について（①か②のどちらかに○を付けてください）

①配布のみ（11校／50％）

②配布の上、学校内で活用している（11校／50％）

<具体的な活用方法>

朝読書月間を年3回（3か月）実施。各自が記録していく

臨時休業中、毎日読書の時間を設定。課題図書（本校指定）を1人1冊貸し出し、読書通帳の記入もさせた

書き込み、読書感想文やビブリオバトル等に活かしています

定期的に冊数等を委員会で集計し、クラス表彰や個人表彰を行っている
朝読書の記録
読書調査
朝読書を中心に記録。今年度から 10 冊記録すると、図書室の禁帯出の本が一冊借りられるなどの特典をつけた。
ブックトークで他にどんな本を読んだのかを通帳を活用して紹介（国語の授業）
休校中の読書活動の推進
図書委員会で、読書通帳のチェックを行う程度のことをやっています。（ほぼ配布のみです）
読んだ本の数の集計など

【回答状況】

「配布のみ」、「配布の上、学校内で活用している」ともに半数だった。

具体的な活用方法は、上記記載のとおり。

【今後の対応】

配布を開始して4年目となるが、活用が定着しつつある。今後の使用状況を見ていながら、新たな課題の検討や対応を行っていく。

(2) 読書通帳に類する読書ノートなどの事業を貴校独自で行っていますか。

(①か②のどちらかに○を付けてください)

①行っている (2校/9%)

<具体的な内容>

読書記録をつけ、集計している

読書コンテストなどを実施する時の集計やおすすめ本の紹介など

②行っていない (20校/91%)

【回答状況】

約1割の学校で、読書通帳に類する読書ノートなどの事業を行っている。

【今後の対応】

全校に区作成の「読書通帳」が配布され、半数の学校で活用されている。全校で実施している「朝読書」への活用など、積極的な働きかけを行っていく。

6 学校図書館でのボランティア活動状況についてお伺いします。

(1) 貴校でのボランティアの活用状況について、該当するところに○を付けてください。

※ボランティア…下記 7- (2) の活動者

内容	活用状況 (どれかに○)		
	活用している	活用中で、さらに 人数を増やしたい	活用していない
① 書架整理	1校/5%	0校	21校/95%
② 読み聞かせ	0校	0校	22校/100%
③ 本の修理	1校/5%	0校	21校/95%
④ ディスプレイ	1校/5%	0校	21校/95%
⑤ 本の貸出返却	0校	0校	22校/100%
⑥ その他 ・読書の見守り	1校/5%	0校	

(2) 問7- (1) でボランティアを「活用している」または「活用中で、さらに人数を増やしたい」を選択された方にお伺いします。ボランティア活動をされている方ごとの現在の人数をご記入いただき、その方々の活動内容に○を付けてください。

活動されている方	人数 (名)	活動内容 (複数選択可)			
		書架整理	貸出・返却	読み聞かせ	その他 (具体的に)
① PTA・保護者	5	内訳不明			
② 地域の方	15	内訳不明			
③ 学校支援地域本部の ボランティア	2	内訳不明			
④ 図書館紹介のボランティア	0				
⑤ その他	0				

(3) 問7- (1) でボランティアを「活用中で、さらに人数を増やしたい」を選択された方にお伺いします。図書館紹介のボランティアの増員を希望する場合、何人くらい増やしたいですか。増やしたい人数をお書きください。

- ①書架整理 (0 名) ②貸出・返却 (0 名) ③読み聞かせ (0 名)
④その他 (0 名)

【回答状況】

全校で22人とボランティアは非常に少ない。

ボランティアは、「地域の方」が最も多く、「図書館紹介のボランティア」はいなかった。また、「図書館紹介のボランティア」に対する増員希望はなかった。

【今後の対応】

現状ではボランティアの活用は見込めないが、学校の求めに応じて、学校の負担軽減につながるような積極的なボランティアの活用を提案していく。

8 「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール」についてお聞きします。

貴校で取り組んでいる調べる学習についての疑問や悩み、図書館へのご意見・ご要望等がございましたら、お聞かせください。

- ・夏の自主課題として扱っているため、各生徒個人の取り組みになっている
- ・今年度、夏休み前に出前授業をお願いする予定でしたが、現在の状況ではムリそうです。具体的な学習法の資料や作品見本をお借りしたい
- ・具体的な学習法を知りたい、作品見本を見たいも学習意欲を高めることに必須です。項目などたくさん提示していただくと生徒へ伝えやすくなります。本校では比較的時間がある理科の嘱託教員が担当してくれている
- ・昨年度は取り組みませんでした。今年度は生徒への周知、コンクールの取り組みを充実させたいと思っていましたが、新型コロナウイルスによる休校期間後の学校再開予定が不明なので、きびしいのではないかとと思う
- ・タブレット端末等を使い、図書館へ足を運ばなくてもオンラインで電子書籍が閲覧できると有難い

【回答状況】

「作品見本を見たい」、「具体的な学習方法を知りたい」という意見が最も多かった。

また、新型コロナウイルスの影響により、今年度は難しいという意見もあった。

【今後の対応】

「板橋区図書館を使った調べる学習コンクール」の参加校を増やしていくには、学校、特に先生へのサポートが必要である。過去の作品のレプリカを出張授業で活用するなど、実際に見ることができる機会を作っていく。

また、学習方法をまとめた資料を作成し、学校に情報提供する。

9 図書館で実施するイベントや出張授業等でどのような内容のものがあれば良いと思いますか。該当の項目すべてに○を付けてください。実施場所についても○を付けてください。

内 容	実施場所	
	学校へ出張して	図書館内で
① ブックトーク	5校/23%	2校/9%
② 調べる学習講座	8校/36%	0校
③ ビブリオバトル	5校/23%	2校/9%
④ 絵本づくりワークショップ	1校/5%	1校/5%
⑤ 生徒との共同展示	2校/9%	1校/5%
⑥ 学校図書委員と図書館員との連携・懇談	4校/18%	2校/9%
⑦ その他 ・ 幼児相手の読み聞かせ ・ ポップ作り	2校/9%	0校

【回答状況】

全体をとおして、学校へ出張して実施してほしいとの希望が多かった。

特に、「調べる学習講座」の希望が4割近くあり、次いで、「ブックトーク」、「ビブリオバトル」も多かった。

【今後の対応】

希望の事業について、できる限り対応していけるよう、図書館サポーターと協力しながら実施校を増やしていく。また、この結果は区立図書館全体で共有し、今後の学校連携に反映させていく。

10 図書館での多文化サービス検討にあたり、貴校の生徒の構成と図書館へのご要望についてお伺いいたします。

(1) 外国にルーツをもつ生徒が ①いる (22校/100%)

②いない (0)

(2) (1)で①いると答えた学校にお聞きします

①言語別(母語別)内訳

中国語	54人	英語	8人	タガログ語	4人	ロシア語	2人
韓国語	2人	ベトナム語	1人	ベンガル語	1人	ドイツ語	1人
モンゴル語	1人	インド語	1人	ミャンマー語	1人		

※不明と回答した学校があるため、実際的人数はもっと多い。

②上記のうち日本語学級に通級していない生徒数 (55人)

(3) 外国にルーツをもつ生徒に対し、図書館からどのような支援があれば良いと思いますか。自由にご記入下さい。

母語の図書を充実してほしい。やさしい日本語の本で外国につながる生徒が読む本をおすすめしていただくとありがたい(2校)
“漫画で覚えた”という卒業生もいた。英語訳のドラえもんなどのシリーズのように、中国語訳のドラえもんシリーズなど、いろいろあると良いと思う。また、タガログ語の本はありますか
母語で読める中学生にふさわしい本をたくさん入れてほしい。区全体的には中国人が多いので、中国語で書かれた世界の名作などがあると良いと思う
英語や中国語での本の紹介
母語で読める本があるとよい
その生徒が楽しめる本
中国語と日本語のどちらでも読める本等があれば、もしかしたら喜んでくれるかもしれない
外国語で描かれた本など、何冊かあるとよいと思う
外国語の本を紹介してほしい。調べ方など
日本語学級に通っている生徒や不慣れな生徒が読書しやすい日本語の図書の紹介(図書館便り等で)
外国語で書かれた資料(日本の暮らし、役所など公共施設の利用などに役立つパンフレット、書籍、テキスト)レファレンスサービスの細かい充実-外国語対応者
日本語の教科書、わかりやすい本の展示、中国語でのチラシ作成
母語で書かれた絵本(日本で書かれたものの翻訳作品など)があると個別の支援が行いやすいと思う
洋書を置く

【回答状況】

全ての学校で外国にルーツを持つ生徒がいる。

言語別では中国語が多く、次に英語と続く。また、把握していない学校もあり、実際の人数とは異なる。

図書館への要望は、上記記載のとおり。

【今後の対応】

中国語をはじめ、外国にルーツを持つ生徒の母語の絵本を拡充している。中学生向け資料をリスト化するなど、情報提供に力を入れていく。また、中学生向け資料(外国語読みもの)の要望を把握し、今後の蔵書構築に活かしていく。

11 その他 ご意見・ご要望をご記入ください。

休校で、本を読みたいが手元にないという生徒がいます。可能な形で貸出が再開されるとありがたいです
今年度は新型コロナ対策で図書室に人を集めること自体ができないので、イベントは難しいです。状況が変わったらイベントを実施できればいいと思います
今年度コロナの関係で図書館、図書室の利用がどう制限されるのか、指針のようなものが区としてあるのなら知りたいです
今後どのように図書の貸し出し等を実施すればよいか、アドバイスいただけますと助かります。よろしく願いいたします
いつもご協力をたくさんしていただきありがとうございます。今年度は新型コロナウィルスの予防のため、なるべく出入りする人を制限する傾向にあるので実施等できないこともありませんが、来年度もよろしく願いします
10の(2)の調査は学校にされてもお答えできないと思います